

1月・2月も役立つ講座がいろいろ!

子育てリフレッシュサロン

◆1月11日(木) 10:00~11:30
 場所: 参画センター学習研修室 3
 参加費: 無料
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



摂食障がい家族の会

◆1月20日(土) 13:30~15:00
 場所: 参画センター相談室
 参加費: 無料



シングルマザーの会

◆1月21日(日) 13:30~15:00
 場所: 参画センター学習研修室 3
 参加費: 無料
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



男女共同参画のキーワード

<SOGIハラスメントってなに?>

SOGIハラスメントって、聞いたことがありますか?
 SOGIハラ(ソジハラ)とは、相手の性的指向や性自認を理由に、差別的な言動や嘲笑をしたり、暴力やいじめなどの肉体的・精神的な苦痛を与えたりすることです。また、学校や職場、メディア等での不当な扱い、相手に社会的不利益を被らせることも含まれます。他のハラスメントと同様、相手が意識的でないにしても同じことです。

「LGBT」が性的マイノリティをあらわす言葉として一般的に知られていますが、LGBTには性的指向(レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル)と、性自認(トランスジェンダー)が混在しています。そこで、「性的指向と性自認」を包括してより大きくあらわす概念として、SOGIがあるという位置づけです。

誰かの SOGI について、許可なく他の人に言うのは、「アウトティング」と呼ばれます。この言葉が世間に広まったきっかけとなったのは、2015年に起こった一橋大学の学生のアウトティング事件があります。学生のAさんが友人の学生Bにカミングアウトをしたところ、学生Bがそれを周りの人に勝手に言いふらしたことで、当事者であるAさんが傷つけられ、最後に自殺してしまったという事件です。

2017年1月、国家公務員の就業規則において、性的指向や性自認に関する偏見に基づく言動・行動は、防止すべき対象、排除の対象と位置付けられました。そして、2020年

2月さんかく交流サロン

「紙粘土でうさぎ雛の置物をつくろう!」
 ◆2月8日(木) 13:30~15:00
 場所: 参画センター 学習研修室 1・2
 参加費: 600円
 定員: 16人まで
 準備物: おしぼり、持ち帰り用の箱(10cm×6cm)



市民企画講座

「シンポジウム『自助グループ』再考」
 ◆2月10日(土) 13:30~15:30
 内容: 当事者、家族、看護師などで自助グループの意義などについて話し合います。
 場所: 参画センター学習研修室 3
 参加費: 600円
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)
 *生後6ヶ月から就学前の子ども
 企画: AKK かがわ 後藤(携帯090-9456-5894)



知ってる?



6月1日には、厚労省が「職場におけるハラスメント関係法令(通称・パワハラ防止法)」を施行しました。SOGIハラを含む、広義のハラスメントが全面的に禁止されることになり、大企業は2020年6月以降に、中小企業は2022年の4月以降までに、自社のSOGIハラ対策を考えることが必須となりました。
 (資料: IDEAS FOR GOOD)

「企業のためのLGBT」DVD上映会及び当事者の皆さんとの意見交換会を開催します!

誰もが働きやすい職場について、一緒に考えてみませんか?
 日時: 令和6年1月18日(木)
 午後2時~3時30分
 講師: プラウド香川
 あしたプロジェクトメンバー
 ゲストスピーカー: 谷川 由紀氏(社会保険労務士)
 場所: 高松市防災合同庁舎3階 301会議室
 (高松市番町一丁目8番15号 市役所西側建物)
 対象: 企業経営者、管理職、人事労務担当者等
 定員: 20名(定員に達し次第受付終了)
 申込み・問合せ先: TEL:087-839-2275
 申し込み締切: 1月11日(木) 正午
 *お申し込みはこちらから➡



資料: 高松市市民政策局男女共同参画・協働推進課

12月の行事から

市民フェスティバル・パネル展・ワークショップ

18~12/3

場所: ふれあい交流サロン・学習研修室 1・2・3
 市民フェスティバルの映画・ワークショップ、パネル展が11月18日から12月3日まで全館で開催されました。
 (パネル展の感想)
 「県内で活動する多種多様な団体を知ることができて勉強になった」「写真などがたくさんあって活動の様子がわかりやすかった」「各地域、各団体での取り組みが分かって良かったです」「知らない会のことを知るよい機会になった」「色々な体験メニューが楽しそうに参加したくなりました」等。



(ワークショップの感想) *一部抜粋
 (わが家のお金の見える化、はじめませんか?)
 「家計簿のことが詳しく聞けた。なかなか聞けることがないので、良かった等。
 (カンナくずで作るクリスマスリース) *写真↓
 「普段使うことのないもの、捨てるものを材料にして作るのが、とても良かったです等。
 (国民救援会香川県本部)
 「聞いて、よくわかった。福屋さんの生きざまに感動した」等。



18~12/3

市民フェスティバル・ワークショップ

(ワークショップの感想) *一部抜粋
 (政治への女性の参画をすすめて!)
 「地道にこうした活動に取り組んでくれて感謝です」等。
 (香川のお魚文化について知ろう)
 「私は海の事が大好きで、よくゴミ拾いに参加しています。ですので、津田の海はすごく綺麗だと思いました」等。
 (日本語を学ぶフィンランド人)「これからの世界はどうなるのか、考えさせられた」等。
 (稲わらでしめ縄を作ろう) *写真➡
 「only oneのしめ縄で新年を迎えることができるとてもうれしいです!」等。



(ドキュメンタリー「原発故郷 3650日」)
 「悪化が後世に続く厳しい環境。福島の実状と原発について、いろいろと考えさせられた」等。
 (ハンセン病講演と映画)「映画で、身近な県が地域の人々がどう関わったがとてもよくわかった。」等。
 (親・教師のためのLD講演会)「疑問と悩みが解決した」「子どもとの関わり方において、いろいろな見方を持つことができた」等。
 (学校給食の食育講演会)
 「タイトル通りやるべきことがシンプルで、今後の子育てに役立つお話をした」等。
 *写真➡



トピックス

「みんなで語ろう!女性の視点からの防災@ぼうさいこくたい2023」を開催!

(資料: 内閣府 共同参画 12月号)
 国民の防災意識の向上のため2016年から開催している防災推進国民大会(ぼうさいこくたい)。会場となった横浜国立大学では、様々な団体・機関がセッションやプレゼンテーション、屋外展示等を実施しました。
 男女共同参画局として3回目の参加となる今回は、防災に関わる女性たちが地域や組織の枠を越えて「つながる」ことを目的に、「みんなで語ろう!女性の視点からの防災」と題してワークショップを開催しました。
 トークタイムでは、参加者が6つのグループに分かれて意見交換を行いました。以下、一部ではありますが、AグループとBグループの一部をご紹介します。

Aグループ「誰もが生きやすい社会へ」

「女性の視点」に立った防災の取組がなかなか進まないことについて、男性も今回のワークショップのような、「女性の視点」について考えるイベントに参加して女性リーダーの意見を聞くなど、情報を積極的に取りにいけるのがいいのではないかと、との話し合いがありました。



Bグループ「女性の防災人口を増やそう」

女性といってもそれぞれ生活や考え方は異なり、一括りにはいられない。ライフステージの変化により、育児・介護の面から防災に関心を持つ世代もあり、多様な声を防災対策に盛り込めるように、女性の防災ネットワークを活かす必要があるのでは。また、育児や介護中の行政職員の災害対応について、愛知県豊橋市が設置した職員用の託児所の事例を紹介し、防災への女性の参画には、防災業務に従事する職員への支援体制の整備も重要との認識を共有しました。